

## 地方創生推進交付金・地方創生応援税制のK P I の実績について（令和4年度）

事業名	番号	内容	単位	担当課	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	事業の成果	事業の効果	事業の評価	
													事業で得られたノウハウ			
○地方創生推進交付金【単独】 自動車産業集積化加速 ローカル連携・グローバル展開プロジェクト	1	市内自動車関連ボム製品製造出荷額（増額分）	千円	商工労働課	目標数値		90,000	90,000	120,000	50,000	50,000		【事業の成果】 半導体不足による日本の自動車メーカーが減産した影響などをうけ、6.8億円まで減少した。	地方創生に一定の効果があった	目標を達成できなかったが、次年度以降のK P I 達成に向けた有効な取組ができた。	
					実績値		190,000	0	70,000	-40,000		【事業で得られたノウハウ】 遠野市に整備された物流拠点から、復興支援道路重要港湾釜石港を經由した海外への新たな輸出ルートが確立されたため新型コロナウイルスの影響を最小限にすることが出来た。				
	2	自動車関連企業 設備投資額	千円	商工労働課	目標数値		290,000	300,000	33,000	20,000	20,000		【事業の成果】 今後の自動車関連産業の取引拡大を見据えて、当初計画の大幅を超える設備投資が実施された。	地方創生に一定の効果があった	地方版総合戦略のK P I 達成に有効であった。	
					実績値		12,462	694,751	272,830	45,410		【事業で得られたノウハウ】 積極的な設備投資をすることで、人手不足を補う生産性の向上につながった。				
	3	自動車関連企業 現金給与総額（増額分）	千円	商工労働課	目標数値		20,000	45,000	35,000	20,000	15,000		【事業の成果】 世界的な不確実性の高まりが懸念材料となり、従業員への給与支給額は現状維持となった。	地方創生に一定の効果があった	目標を達成できなかったが、次年度以降のK P I 達成に向けた有効な取組ができた。	
					実績値		30,000	10,000	30,000	0		【事業で得られたノウハウ】 自動車メーカーによる減産影響があったものの、設備投資で生産性向上と雇用確保により、従業員への給与支給額は現状維持することが出来た。				
	4	とおのでくす&はたらく若者定着促進事業参加数	人	商工労働課	目標数値		260	480	485	490	490			【事業の成果】 事業所説明会の開催や就職マッチングフェアへの出席等により、市内外からの人材確保を促進した。	地方創生に一定の効果があった	目標を達成できた。令和5年度も目標を達成できるよう取組を継続する。
					実績値		306	283	273	839		【事業で得られたノウハウ】 本事業は終了したが、新規事業（市内人材確保推進プロジェクト）で人材確保の取組みを拡充した。				
	○地方創生推進交付金【単独】 日本のふるさと遠野風の丘しごと創生プロジェクト	5	道の駅「遠野風の丘」販売額	千円	産業企画課	目標数値			597,266	697,266	727,266	737,266	747,266	【事業の成果】 販売額は、前年から大幅に伸ばすものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標数値を達成することができなかった。 新商品開発や試験販売、スタッフ向け研修会の開催のほか、売り場やイベント改善など、ソフト面の改善を支援し、施設の魅力向上に努めた。	地方創生に相当程度効果があった。	目標を達成できなかったが、次年度以降のK P I 達成に向けた有効な取組ができた。
						実績値		329,186	570,985	644,578			【事業で得られたノウハウ】 民間事業者の力を活用して事業を進めたことで、市場ニーズの把握、販売促進等のノウハウを得るとともに、経営指導や人材育成等においても、民間のノウハウを活用することにより、質の高いサービスの提供等につながった。			
		6	地域経済けん引事業者（ふるさと公社及びふるさと公社）の販売額	千円	産業企画課	目標数値			800,000	840,000	880,000	890,000	900,000	【事業の成果】 販売額は、前年から大幅に伸ばすものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標数値を達成することができなかった。 地域経済けん引事業者として、ふるさと公社の経営基盤強化を図るため、新商品開発や試験販売、スタッフ向け研修会の開催のほか、売り場やイベント改善など、ソフト面の改善を支援し、施設の魅力向上に努めた。	地方創生に相当程度効果があった。	目標を達成できなかったが、次年度以降のK P I 達成に向けた有効な取組ができた。
						実績値		414,712	535,423	641,957			【事業で得られたノウハウ】 民間事業者の力を活用して事業を進めたことで、市場ニーズの把握、販売促進等のノウハウを得るとともに、経営指導、人材育成等のノウハウも得ることができた。			
7		道の駅「遠野風の丘」入込数	人	産業企画課	目標数値			885,187	985,187	1,005,187	1,010,187	1,015,187	【事業の成果】 入込数は、前年から増えたものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標を達成することができなかった。 新商品開発や試験販売、スタッフ向け研修会の開催のほか、売り場やイベントなどソフト面の改善を支援し、施設の魅力向上に努めた。	地方創生に相当程度効果があった。	目標を達成できなかったが、次年度以降のK P I 達成に向けた有効な取組ができた。	
					実績値		549,235	689,333	735,465			【事業で得られたノウハウ】 民間事業者の力を活用して事業を進めたことで、市場ニーズの把握、販売促進等のノウハウを得るとともに、経営指導、人材育成等のノウハウも得ることができた。				
○地方創生推進交付金【単独】 市内企業人材確保推進プロジェクト		8	地方創生交付金事業により就職した就労者数	人	商工労働課	目標数値					20	20	20	【事業の成果】 事業に参加した企業において、目標を上回る就労者数を達成した。	地方創生に一定の効果があった。	目標を達成できた。令和5年度も目標を達成できるよう取組を継続する。
						実績値						26				
		9	オープンファクトリー参加者数	人	商工労働課	目標数値					100	100	150	【事業の成果】 目標を超える参加者数があり、市内企業を広く周知することができた。	地方創生に一定の効果があった。	目標を達成できた。令和5年度も目標を達成できるよう取組を継続する。
						実績値					575			【事業で得られたノウハウ】 市内事業所がまとまって広報活動を行う方法。		

事業名	番号	内容	単位	担当課	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	事業の成果		事業の効果	事業の評価
													事業で得られたノウハウ			
	10	ユースエール認定、トライくるみん・プラチナくるみん、えるぼし・プラチナえるぼし、いわて子育てにやさしい企業等認証延べ事業者数	社	商工労働課	目標数値					2	2	2	【事業の成果】 就労環境を改善するための一つの方法として認証制度の認定があること、認証を得るために必要なプロセスがあることについて啓発することができた。	地方創生に一定の効果があった。	目標を達成できた。令和5年度も目標を達成できるよう取組を継続する。	
					実績値					2			【事業で得られたノウハウ】 市内企業が認証を受ける方法。			
	11	新規学卒・Uターン・求職者全体の就職件数	人	商工労働課	目標数値					50	50	50	【事業の成果】 就職件数が昨年より増加した。	地方創生に一定の効果があった。	目標を達成できた。令和5年度も目標を達成できるよう取組を継続する。	
					実績値					138			【事業で得られたノウハウ】 市内事業者が自社をPRする方法			
○地方創生推進交付金【単独】 とびあ・まちなか再生プロジェクト	12	中心市街地活性化センター（とびあ）の販売額	千円	商工労働課	目標数値					1,209,940	1,229,940	1,249,940	【事業の成果】 産学官連携により、学生の発想力を活用した省人化システムを開発した。また、集客力向上を図るため、コワーキングスペース設置に向けた先事例を調査した。	地方創生に一定の効果があった。	目標達成できなかったが、次年度以降のKPI達成に向けた有効な取組ができた。	
					実績値					1,178,016			【事業で得られたノウハウ】 先進地におけるコワーキングスペースの運営方法等。			
	13	中心市街地活性化センター（とびあ）の入込客数	千人	商工労働課	目標数値					692	706	720	【事業の成果】 産学官連携により、学生の発想力を活用した省人化システムを開発した。また、集客力向上を図るため、コワーキングスペース設置に向けた先事例を調査した。	地方創生に一定の効果があった。	目標達成できなかったが、次年度以降のKPI達成に向けた有効な取組ができた。	
					実績値					640			【事業で得られたノウハウ】 先進地におけるコワーキングスペースの運営方法等。			
	14	中心市街地（まちなか）商店街販売額	千円	商工労働課	目標数値					2,334,305	2,408,305	2,500,305	【事業の成果】 まち・まるごと産業フェスタに關し、産業分野の事業者との協働が図られたとともに、これまで個別に開催されていた活性化イベントを集約し、中心市街地全体を会場としたことにより、来場者がまちなかを回遊し、賑わいを創出することができた。	地方創生に相当程度の効果があった。	地方版総合戦略のKPI達成に有効であった。	
					実績値					2,438,637			【事業で得られたノウハウ】 まち・まるごと産業フェスタの企画・運営方法について、市内事業者と連携した取組みを実施することができた。			
	15	中心市街地（まちなか）商店街入込客数	千人	商工労働課	目標数値					859	879	899	【事業の成果】 まち・まるごと産業フェスタに關し、産業分野の事業者との協働が図られたとともに、これまで個別に開催されていた活性化イベントを集約し、中心市街地全体を会場としたことにより、来場者がまちなかを回遊し、賑わいを創出することができた。	地方創生に一定の効果があった。	目標達成できなかったが、次年度以降のKPI達成に向けた有効な取組ができた。	
					実績値					844			【事業で得られたノウハウ】 まち・まるごと産業フェスタの企画・運営方法について、市内事業者と連携した取組みを実施することができた。			
	○地方創生推進交付金【広域】 ICT&SIBの活用により健康長寿化と扶助費の増加抑制を可能とする飛び地連携型大規模ヘルスケア事業	16	ICTヘルスケアサービスによる5市町の医療費・介護給付費の抑制額（2018年度対比）	百万円	健康長寿課	目標数値				560	890	1,270	【事業の成果】 医療費600万円、介護給付費230万円の抑制額が確認され、抑制効果がみられた。最終年度での達成に向けて、エビデンスに基づいた事業実施により抑制額の増加を目指している。	地方創生に相当程度の効果があった。	目標を達成できなかったが、次年度以降のKPI達成に向けた有効な取組ができた。	
						実績値				480	830		【事業で得られたノウハウ】 本市の参加者分析結果から、医療費・介護給付費の抑制効果を高めている要因が明らかになったことで、歩数の少ない参加者層（低空飛行層）に対する有効な対策等を取り入れた事業展開を図ることができた。			
		17	ICTヘルスケアサービスの参加者数（2018年度からの継続参加者含む）	人	健康長寿課	目標数値		7,200	10,770	14,000	17,800	21,450	【事業の成果】 健康寿命の延伸、医療費・介護給付費の抑制、地域の活性化を目指し、飛び地連携する5市町で取り組んでいる（4年目）。本市の新規参加者は170人、継続参加率は88.8%と高い水準であり、本事業により健康無関心層を健康維持へと行動変容することができた。	地方創生に相当程度効果があった。	目標を達成できなかったが、次年度以降のKPI達成に向けた有効な取組ができた。	
	実績値						7,102	10,520	13,145	15,783		【事業で得られたノウハウ】 事業評価により、本市の市民に適した対応方法、例えば参加の決め手の9割がロコミ、スタッフの確実な声かけが健康行動の変化につながっていることなどのエビデンスに基づくノウハウを得られ、事業展開に役立てることができている。				
18	健康アンバサダー養成人数	人	健康長寿課	目標数値		700	700	400	400	300	【事業の成果】 地域の中で正しい健康情報を伝える役割を持つ健康アンバサダーを、本市で新たに84名養成した。保健推進委員への研修に取り入れたことでその後の地域活動に役立てることができた。連携する他市町で目標値に届かず、全体数値が目標達成とはならなかった。	地方創生に相当程度効果があった。	目標を達成できなかったが、次年度以降のKPI達成に向けた有効な取組ができた。			
				実績値		821	289	228	369		【事業で得られたノウハウ】 身近な存在である健康アンバサダーからの啓発は、健康無関心層へのアプローチの有効性が確認できており、事業の成果を得るための健康アンバサダーの活用等についてノウハウを得ることができた。					

事業名	番号	内容	単位	担当課	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	事業の成果		事業の効果	事業の評価
													目標数値	実績値		
○地方創生推進交付金【広域】 高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト	19	「高校を核とした関係人口」の数	人	学校教育課	目標数値			2,560	3,176	3,631	4,266	4,696	【事業の成果】 広域連携で実施している本事業については、広域プロジェクトで設定した「高校を核とした関係人口の数」の目標数値3,631人に対し、3年目（令和4年度）実績値が5,194人と目標を大幅に上回り、広域プロジェクト全体において目標達成された。	地方創生に相当程度効果があった。	地方版総合戦略のKPI1達成に有効であった。	
					実績値			4,239	3,948	5,194		【事業で得られたノウハウ】 本プロジェクトに参画している他の自治体や高校の取組が情報共有され、事業を推進するうえでノウハウを得ることができた。				
	20	「都市部での地方高校全国説明会」参加者数	人	学校教育課	目標数値			2,293	2,543	2,899	3,329	3,759	【事業の成果】 継続的に説明会が開催されていることから、説明会に訪れる中学生、保護者等との接点の構築手法等の見直しが毎年行われており、参加自治体や参加校のPR手法等の技術力の向上が見られる。 また、この都市部での説明会のみならず、特定校の詳細を開きたい、別日に参加したいといったニーズに合わせた学校単独での説明会も開催されており、よりニーズに沿った事業展開がされている。	地方創生に相当程度効果があった。	地方版総合戦略のKPI1達成に有効であった。	
					実績値			3,456	3,004	4,368		【事業で得られたノウハウ】 本プロジェクトに参画している他の自治体や高校の取組の情報共有、オンライン開催の場合のプレゼン方法等、事業の成果を上げるためのノウハウを得ることができた。				
	21	「地域課題解決学習全国大会」エントリープロジェクト	件	学校教育課	目標数値			322	476	673	793	855	【事業の成果】 地域住民（農業者、民間事業者等）が高校生とそこの地域の課題解決に向けた検討、学習等を通して、新たな地域の魅力発信コンテンツの創出、地元地域の魅力の再発見などにつながっており、地域と高校の協働による探究活動が全国的に広がり、地域創生のきっかけとしても重要なものとなっている。	地方創生に相当程度効果があった。	地方版総合戦略のKPI1達成に有効であった。	
					実績値			439	773	1,002		【事業で得られたノウハウ】 本プロジェクトに参画している他の自治体や高校の取組が情報共有されるため、事業を推進するうえでノウハウを得ることができた。				
	22	「共学共創ネットワーク」参加自治体・学校数	団体	学校教育課	目標数値			60	66	74	83	92	【事業の成果】 高校・地域・行政の全てに有益となるよう、学校現場と地域の連携体制構築の推進、魅力発信コンソーシアムの構築などを進めてきたことで、この広域プロジェクトは全国的に広がっており、新たに12自治体加わった。	地方創生に相当程度効果があった。	地方版総合戦略のKPI1達成に有効であった。	
					実績値			68	78	100		【事業で得られたノウハウ】 本プロジェクトに参画している他の自治体や高校の取組が情報共有されるため、事業を推進するうえでノウハウを得ることができた。				
	○地方創生拠点整備交付金 遠野みらいづくりカレッジ拠点化推進計画	23	レストランの年間収益	千円	生涯学習スポーツ課	目標数値	0	3,000	4,000	5,000	6,000			【事業の成果】 令和3年度をもって食育カフェを閉店したため、収益はなしとなった。	左記理由により本年度においては、地方創生に効果はなかった。	左記理由により、事業を実施しなかったため、未達成となった。
						実績値	0	2,040	1,418	1,175	0		【事業で得られたノウハウ】 上記理由により、営業を行っていない。			
		24	レストランの年間利用者数	人	生涯学習スポーツ課	目標数値	0	3,000	4,000	5,000	6,000			【事業の成果】 令和3年度をもって食育カフェを閉店したため、利用者はなしとなった。	左記理由により本年度においては、地方創生に効果はなかった。	左記理由により、事業を実施しなかったため、未達成となった。
						実績値	0	2,355	1,537	1,996	0		【事業で得られたノウハウ】 上記理由により、営業を行っていない。			
25		地場産品を活用した特産品開発件数	件	生涯学習スポーツ課	目標数値	0	1	1	1	1			【事業の成果】 令和3年度をもって遠野みらい創りカレッジ運営業務委託を終了したため、特産品開発はなしとなった。	左記理由により本年度においては、地方創生に効果はなかった。	左記理由により、事業を実施しなかったため、未達成となった。	
					実績値	0	2	1	1	0		【事業で得られたノウハウ】 上記理由により、業務を行っていない。				
26		道の駅「遠野風の丘」販売額	千円	産業企画課	目標数値			597,266	697,266	727,266	737,266	747,266	【事業の成果】 販売額は、前年から大幅に伸ばすものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標数値を達成することができなかった。 新商品開発や試験販売、スタッフ向け研修会の開催のほか、売り場やイベント改善など、ソフト面の改善を支援し、施設の魅力向上に努めた。	地方創生に相当程度効果があった。	目標は達成できなかったが、次年度以降のKPI1達成に向けた有効な取組ができた。	
					実績値			329,186	570,985	644,578		【事業で得られたノウハウ】 民間事業者の力を活用して事業を進めたことで、市場ニーズの把握、販売促進等のノウハウを得るとともに、経営指導や人材育成等においても、民間のノウハウを活用することにより、質の高いサービスの提供等につながった。				
27		道の駅「遠野風の丘」入込数	人	産業企画課	目標数値			885,187	985,187	1,005,187	1,010,187	1,015,187	【事業の成果】 入込数は、前年から増えたものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標値を達成することができなかった。 新商品開発や試験販売、スタッフ向け研修会の開催のほか、売り場やイベントなどソフト面の改善を支援し、施設の魅力向上に努めた。	地方創生に相当程度効果があった。	目標は達成できなかったが、次年度以降のKPI1達成に向けた有効な取組ができた。	
					実績値			549,235	689,333	735,465		【事業で得られたノウハウ】 民間事業者の力を活用して事業を進めたことで、市場ニーズの把握、販売促進等のノウハウを得るとともに、経営指導、人材育成等のノウハウも得ることができた。				

事業名	番号	内容	単位	担当課	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	事業の成果		事業の効果	事業の評価
													事業で得られたノウハウ			
	28	遠野ふるさと公社・高社の販売額	千円	産業企画課	目標数値			800,000	840,000	880,000	890,000	900,000	【事業の成果】 販売額は、前年から大幅に伸ばすものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標数値を達成することができなかった。 地域経済けん引事業者として、株式会社と商社の経営基盤強化を図るため、新商品開発や試験販売、スタッフ向け研修会の開催のほか、売り場やイベント改善など、ソフト面の改善を支援し、施設の魅力向上に努めた。	地方創生に相当程度効果があった。	目標は達成できなかったが、次年度以降のKPI達成に向けた有効な取組ができた。	
					実績値			414,712	535,423	641,957		【事業で得られたノウハウ】 民間事業者の力を活用して事業を進めたことで、市場ニーズの把握、販売促進等のノウハウを得るとともに、経営指導、人材育成等のノウハウも得ることができた。				
○地方創生応援税制 企業支援による若者しごとサポート事業	29	奨学金返還支援数	人	商工労働課	目標数値		10	10	10	10	10	10	【事業の成果】 奨学金返還支援補助の実施により、市内中小企業への若年層の人材確保及び地元定着を促進した。	地方創生に一定の効果があった。	目標を達成できた。令和5年度も目標を達成できるよう取組を継続する。	
					実績値		16	11	14	15		【事業で得られたノウハウ】 奨学金返還支援補助のほか、若者人材確保に向けた関連施策との連携を構築することができた。				
	30	新卒者地元就業者数	人	商工労働課	目標数値		35	36	37	38	39	40	【事業の成果】 市内高校生等を対象とした企業見学会やインターンシップ、就職説明会等の人材確保に向けた取り組みの実施により、目標値を超える地元就職が図られた。	地方創生に一定の効果があった。	目標を達成できた。令和5年度も目標を達成できるよう取組を継続する。	
					実績値		41	47	45	55		【事業で得られたノウハウ】 若者の雇用確保に向けた新規事業（市内企業人材確保推進プロジェクト）により、地元企業に倒るる認知度・理解度の向上による人材確保の取組を拡充した。				
	31	3年以上就業した定着者数	人	商工労働課	目標数値					30	25	35	37	【事業の成果】 若年者継続勤務奨励事業等の実施により、市内中小企業への若者の定着を促進した。	地方創生に一定の効果があった。	目標を達成できた。令和5年度も目標を達成できるよう取組を継続する。
					実績値					38	30		【事業で得られたノウハウ】 若年者継続勤務奨励事業のほか、若者人材定着に向けた関連施策との連携を構築することができた。			
○地方創生応援税制 遠野ふるさと再生プロジェクト	32	ビールの里関連イベント参加者数	人	産業企画課	目標数値			13,000	15,000	15,000	16,000	16,000	【事業の成果】 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、8月下旬に実施予定であったポップ収穫祭を急遽中止するとともに、その他のイベントについても規模を縮小するなどして実施した。	地方創生に相当程度効果があった。	目標は達成できなかったが、次年度以降のKPI達成に向けた有効な取組ができた。	
					実績値			1,189	336	194		【事業で得られたノウハウ】 ビールの里づくりの活動は、SNS等を活用して広く情報を発信し、サポーターの拡大につながっている。				